

7 母子保健

鶴岡市の0～14歳人口(年少人口)は令和4年3月31日現在12,999人で総人口に占める割合は10.7%であり、出生数は減少傾向が進んでいます。

少子化に加え、乳幼児をとりまく環境は、女性の職場進出、核家族の増加、価値観の多様化など時代と共に大きく変化しており、更には乳幼児虐待など社会的にも問題が大きくなっており子どもを健やかに育む環境整備が必要となっています。

母子保健法に基づき、母性の健康増進とすべての子どもが健やかに生まれ尊重かつ保護され、健全な成長発達と健康増進を図るために、次の施策を行います。

(1) 乳幼児健康診査・健康教育事業 (令和4年度予算額10,335千円)

① 乳幼児健康診査・健康相談事業

乳幼児の健康増進を図るために、健康診査を実施しています。

健診では、我が子を客観的に観察することができるよう援助し母親の育児不安軽減と育児交流の場としても位置付けています。

・乳幼児健康診査・7か月児健康相談実施状況(令和3年度)

	受診児 総数 (人)	受診率 (%)	指導区分別実人員(人)				
			問題なし	要指導	要観察	要精密 健診	要治療・治 療中
4か月児健診査	677	99.3	524	1	49	26	77
1歳6か月児健診	738	99.3	532	12	110	23	61
3歳児健診	698	99.4	367	21	141	109	60
7か月児健康相談	634	98.1	411	10	38	35	140

※7か月児健康診査は令和3年度から7か月児健康相談に変更しています。

※虐待未然防止の観点から未受診者への受診勧奨を強化しています。

※3歳児健診では、尿・視力・聴力検査が加わるため、要精密健康診査数が多くなっています。

※1歳6か月児健診、3歳児健診では精密健康診査料を助成しています。

② 保健指導事業

子どもの成長、発達、栄養、育児への不安等子育て全般について、相談や保健指導を行っています。

・乳幼児健康相談実施状況の推移

	元年度		2年度		3年度	
	回数(回)	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)	人数(人)
定期育児相談	610	5,211	533	3,681	518	3,272
不定期育児相談	-	467	-	731	-	842
電話相談(件)	2,317		2,056		2,100	

※定期育児相談は各コミュニティセンターや地域庁舎で定期的を実施しています。(健康すこやか相談窓口も含む)

③ 地域組織育成事業

母親同士の交流と、子ども達の遊びの「3つの間」（空間・仲間・時間）づくりを、また地区によっては異世代との交流と場づくりを目的に、学区・地域単位に子育てサークルの自主活動の支援を行っています。サークル活動は、コミュニティセンターや地域公民館等を会場に定期開催され、育児相談も同時開催となっています。

・子育てサークルと育児相談会（令和3年度）

場 所	サークル名	日 時	育児相談日時
第一コミセン	キラキラ星	概ね第2金曜日午前	概ね第2金曜日午前
第二コミセン	ヨチヨチ探検隊	第2又は第3月曜日午前	第2又は第3月曜日午前
第三コミセン	チロリン村	第3火曜日午前	第3火曜日午前
第四コミセン	おもちゃ箱	第2・3火曜日午前	第3火曜日午前
第五コミセン	てるてるぼうず	第3月曜日午前	第3月曜日午前
第六コミセン	コアラのマーチ	第1木曜日午前	第1木曜日午前
斎コミセン	のびのびクラブ	第2金曜日午前	第2金曜日午前
黄金コミセン	なかよしランド	第2木曜日午前	概ね第2木曜日午前
湯田川コミセン	たけのこ	第3木曜日午前	第3木曜日午前
農村センター（大泉）	ミッキーのおうち	第3水曜日午前	第3水曜日午前
京田コミセン	ひよっこ広場	概ね第3木曜日午前	概ね第3木曜日午前
栄子育て支援室 なかよしルーム	栄あそぼう会	概ね第3金曜日午前	概ね第3金曜日午前
田川コミセン	-	-	第2火曜日午前
上郷コミセン	未来っ子クラブ	第3水曜日午前	第3水曜日午前
三瀬コミセン	わいわいクラブ	月2回火曜日午前	概ね第4火曜日午前
由良コミセン	はまっ子広場	第1・3火曜日午前	第1火曜日午前
小堅コミセン	ピヨピヨクラブ	第3木曜日午前	第3木曜日午前
加茂コミセン	わくわく丸	不定期	奇数月概ね第2月曜日午前
湯野浜コスパ	ちんちん電車	第2木曜日午前	概ね第2木曜日午前
大山コミセン	大山よいこ ワイワイルーム	第1水曜日午前	概ね第1水曜日午前
農林活性化センター（西郷）	つみきクラブ	第2・4水曜日午前	第4水曜日午前
藤島 地域	藤島ふれあいセンター	サークルかやがや	第1火曜日午前
	長沼地域活動センター		-
	東栄地域活動センター		-
	渡前地域活動センター		-

場 所		サークル名	日 時	育児相談日時
羽黒地域	手向地区地域活動センター	はぐるっこ広場	第 2・4 火曜日午前	—
	羽黒コミュニティセンター		第 2・4 金曜日午前	—
	羽黒子育て支援センター (貴船保育園内)	—	—	概ね第 4 月曜日午前
榎引すこやかセンター (榎引地域)		あそぼう会	金曜日午前	奇数月第 2 木曜日午前
健康の里 ふくら (朝日地域)		ぴよぴよ広場 (1 歳未満)	毎月第 3 木曜日	毎月第 3 木曜日
		あそびの会 (1 歳以上)	木曜日午前	—
あつみ子育て支援センター (温海地域)		—	—	概ね奇数月第 3 水曜日 午前

④ 健康教育事業

子どもの成長・発達や育児について、個別的・集団的に指導助言を行い、地域の普及を図っています。

(ア) 食育指導と育児教室実施状況

離乳食指導は、4 か月児、7 か月児の各健診・相談時に実施しています。ベビーキッチン、9～11 か月児を対象にした離乳食の調理実習・試食を含む食育教室です。

		元年度		2 年度		3 年度	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数
食 育	離乳食指導	48	1,406	48	1,445	48	1,311
	ベビーキッチン	4	104	3	33	2	16
	食育教室	5	164	1	14	1	23
育児教室	育児サークル支援	76	424	2	16	8	124
	子育て支援	73	548	5	141	0	0

(イ) 思春期教育

思春期における心と体の変化を知り、豊かな人間性と社会性を持ち正しい知識と行動により将来待ち望んだ妊娠が迎えられるように講義と実技体験（赤ちゃん抱っこ・妊婦体験）等を、他機関との連携を図りながら行っています。

赤ちゃんふれあい体験（中央児童館主催）は新型コロナウイルス感染症予防対策により中止。令和 3 年度の実績 1 回 28 人（朝日中：思春期ふれあい講座）。

(ウ) 歯科健康教育実施状況

対 象	事 業 名	元年度		2 年度		3 年度	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数
乳児の保護者	7 か月児健康相談	24	706	24	739	24	634
幼児及び 保護者	1 歳 6 か月児・ 3 歳児健診	72	1,622	50	1,442	51	1436
	育児サークル等	8	128	5	38	6	128

⑤ 健康支援事業

先天的な障がいや発達障がい等の障がい受容と育児を支援し、適切な療育環境の整備を図り、また一貫した療育支援のため、医療・保健・福祉の連携を図っていきます。

(ア) 言語発達相談（おやこ教室）

乳幼児健診や相談において、ことばの発達やコミュニケーションに課題のある幼児とその家族、育児不安のある母とその子ども等を対象に実施しています。

元年度		2年度		3年度	
回数	人数	回数	人数	回数	人数
8	実 41 延 51	8	実 39 延 50	8	実 38 延 50

(イ) 元気キッズ教室

幼児肥満の増加から生活習慣病の予防を強化します。1歳6か月児、3歳児健診で見られた肥満や低身長の子を対象に専門医師による健診や生活習慣病の予防に向け継続的に支援しています。

		元年度	2年度	3年度
回数		4	4	4
人数	肥満児	実 21 延 28	実 21 延 24	実 28 延 30
	低身長	実 9 延 12	実 11 延 14	実 8 延 9

⑥ 療育指導事業

障害児の適正療育を図るために、温海地域親の会活動を拠点に療育経験交流と情報交換及び収集などを行いながら、親の会活動を育成しています。（令和3年度）

・かたつむりの会（療育訓練を必要とする児の親の会） 開催状況<温海地域>

開催回数	人数	内容
2	延 13	情報交換

⑦ 連携推進事業

子育て・療育支援・虐待予防について、保健、福祉、教育等が連携し開催しています。

・子育て支援連絡協議会（櫛引地域）

開催回数	参集者、担当者	内容
年 1 回	保育所（園長）、子育て支援センター（職員） 行政職員（児童福祉担当、教育担当、保健師）	情報交換 ケース会議

・子育て支援センター連絡会議（朝日地域）

開催回数	参集者、担当者	内容
年 1 回	保育所（園長）、子育て支援センター（職員） 行政職員（保健師）	情報交換 ケース会議

・虐待予防連絡会議（温海地域）

開催回数	参集者、担当者	内容
年 2 回	保育所（園長）、子育て支援センター（所長）、 主任児童委員、行政職員（児童福祉担当、指導主事、 子ども家庭支援センター、保健師）	情報交換 ケース会議

(2) 妊婦健康診査・家庭子育て機能育成事業

(令和4年度予算額 82,817千円)

妊娠期を健やかに過ごし安心して出産に臨めるようにするために、妊婦に対する健康診査を医療機関に委託実施し、妊娠中の健康管理や経済的負担の軽減を図っています。

また、平成30年6月1日に、健康課と子ども家庭支援センターに「子育て世代包括支援センター」を開設しました。健康課では特に妊娠・出産・産後を、子ども家庭支援センターでは子育て期を担当し、連携して切れ目なく支援を行います。

① 健康診査事業

・妊婦健康診査受診者数（令和3年度）

受診者実人員		受診者実人員		受診者実人員		受診者実人員	
1回目	650	2回目	640	3回目	624	4回目	612
5回目	606	6回目	631	7回目	600	8回目	593
9回目	653	10回目	595	11回目	549	12回目	523
13回目	395	14回目	302				
超音波 1回目	650	超音波 2回目	634	超音波 3回目	656	超音波 4回目	616
子宮頸がん	637	クラミジア	656	HTLV-1	648		

※平成21年度より初回10,000円、2回目以降5,000円を上限として助成。

※平成28年度より、超音波検査初回5,300円、2～4回目4,770円を上限として助成。

・妊婦健康診査結果状況（令和3年度）

	受診者 実数	指導区分別実人数				異常のある者（疑）			HBs 抗原 陽性 者数	HCV 抗体 陽性 者数
		異常 なし	要経過 観察	要精密 検査	要治療	高血圧・ たん白尿	貧血	高血糖		
1回目	650	478	129	19	24	4	40	51	0	0
4回目(20週頃)	612	360	234	1	17	4	5	3		
8回目(30週頃)	593	274	193	1	125	2	79	2		
12回目(37週頃)	523	250	216	0	57	3	41	1		
子宮頸がん	637	625	3	9	0					
クラミジア	656	645	0	0	11					
HTLV-1	648	647	1	0	0					
超音波	1回目	650	641	5	0	4				
	3回目	656	600	40	0	16				

(注) 償還払いによる受診は含まない。(償還払い25件)

(注) 高血圧は最高血圧150mmHg、最低血圧90mmHg以上、たん白尿は+以上、貧血はヘモグロビン濃度11g/dℓ未満。

② 母子保健相談支援事業

(ア) 母子健康手帳交付者数

母子健康手帳は、妊産婦と乳幼児の健康管理と健康診査の結果や発育の記録のために必要な項目を記録するものです。外国人の妊婦に対し、外国語版も準備しています。

	交付数	日本語版	ハングル版	英語版	中国語版	その他
元年度	705	702	0	1	1	1
2年度	685	685	0	0	0	0
3年度	654	648	0	1	1	4

※双胎以上はそれぞれに計上。外国人の場合は外国語のみ計上。その他はベトナム語4

(イ) 母子保健コーディネーター活動実施状況

妊娠・出産・育児について、相談・助言を行っています。

	相談	訪問・面談	電話	連携・調整
元年度	716人	実47人 延107人	274回	277回
2年度	609人	実34人 延107人	193回	235回
3年度	517人	実30人 延73人	175回	163回

(ウ) 妊産婦サポート事業

支援が必要な妊婦に、妊娠期から家庭訪問や面談で保健指導を実施することにより、母性・父性や子どもへの愛着形成を育み、妊娠・出産・子育てへの不安軽減を図ります。

	実人数	訪問・面談(延)	電話での支援
元年度	21人	71回	実17人、延28回
2年度	13人	52回	実13人、延47回
3年度	20人	46回	実12人、延43回

(エ) 産後母子ケア事業「ほっとママルーム」

支援が必要な産婦に、産科医療機関等において、心身のケアと情緒的サポート及び育児支援とともに、乳児のケアを行うことにより、負担軽減と不安の解消を図ります。

	日帰り型		宿泊型	
	実	延	実	延
元年度	1人	1人	4人	6人
2年度	2人	2人(2日間利用)	4人	5人(16日間利用)
3年度	3人	4人(4日間利用)	2人	2人(4日間利用)

(オ) プレママ教室

妊娠、出産、子育てに関する悩みに対して、専門職である保健師、助産師等が不安や悩みを傾聴し、相談支援を行い、孤立感を軽減し、安心して妊娠期を過ごし、出産、育児に臨むことができるよう支援します。 ※平成30年6月から実施

	回数	参加妊婦(実)	参加総数
元年度	11回	54人	149人
2年度	10回	41人	140人
3年度	10回	57人	168人

(カ) 母乳・ミルク相談

産婦の子育ての悩みに対して相談支援を行い、母乳栄養を推進し、乳児が健やかに成長発育できるよう支援するとともに、産婦の子育て不安の軽減を図ります。

	定期相談		随時相談（電話含む）	
	実人数	延人数	実人数	延人数
元年度	41人	57人	27人	36人
2年度	30人	45人	29人	38人
3年度	37人	50人	31人	41人

※平成30年6月より実施。

③ 訪問指導事業

育児経験の不足からくる育児不安の解消と、生命誕生の喜びを確認し、親の育児に対する役割や責任について理解を深めてもらうために、全乳児に訪問指導を行っています。

また、若年、未婚、高齢初産婦などハイリスク妊婦に対しては、妊娠中にも訪問指導を行っています。

	乳児		低出生体重児		幼児		妊産婦		その他	
	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数
元年度	738	823	26	32	59	86	759	848	35	57
2年度	652	738	29	35	41	56	676	786	32	59
3年度	658	731	37	43	33	44	710	798	16	20

④ すこやかな子どもを生ま育てるネットワーク推進委員会

(ア) 設置目的

核家族化、少子化の進展、女性の社会進出などの社会構造が変化するなかで、子育てに不安をもつ母親が増え、身近に相談する人がいないなど新しい時代の子育てが問題となっています。すこやかな子どもを生ま育てるために関係者が情報を交換しながら連携を密にし、効果的な母子保健活動を推進していきます。

(イ) 設立年月日 平成6年2月16日

(ウ) 令和3年度活動目標「みんなで支えるコロナ時代の安心子育て」

(エ) 活動状況（令和3年度）

○子育て講演会（オンライン） 令和3年11月13日 会場：出羽庄内国際村

「なんとかしたい！子どものイヤイヤ 親のイライラより良い親子関係を育むために～前向き子育てプログラム：トリプルP～」 参加者50人

○円卓会議（オンライン） 令和4年2月15日

テーマ「with コロナの子育て事情について」 委員14名
話題提供・ディスカッション

○すこやか出前子育て懇談会

- ・令和3年9月28日 参加者 親子10組 あかちゃん広場参加の乳児と母

○すこやかネット通信「親ガメ・子ガメ」

- ・56号：令和3年11月発行 57号：令和4年3月発行

○推進委員会 年2回

○専門部活動

- ・研修部 円卓会議、子育て講演会の企画、実施
- ・推進部 すこやか出前子育て懇談会の実施
- ・編集部 すこやかネット通信の編集・発行、活動のPR媒体作成

(オ) 委員体制 19人

委員区分

- ①保健所等行政機関の代表者…… 4人
(庄内保健所、庄内児童相談所、小学校・中学校各養護教諭部会)
- ②小児科・産婦人科等関係医師… 2人
- ③地域関係団体代表者…………… 2人
(市立保育園保護者会連絡協議会)
- ④学識経験者…………… 3人
- ⑤市関係課職員…………… 8人
(子ども家庭支援センター、社会教育課、学校教育課、女性センター、
学校給食センター、庄内病院小児科・産婦人科)

(3) 特定不妊治療費助成事業

(令和4年度予算額 7,997千円)

特定不妊治療（体外受精及び顕微授精による治療法）を受ける夫婦に対して、山形県特定不妊治療費助成事業に上乗せをして、費用の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図っています。

	元年度	2年度	3年度
助成組数	実73 延123	実88 延147	実114 延185